

平成25年度 学習指導改善調査 第5学年理科【採点基準】

1 5年「水と温度」

小問番号	採点基準
1-1 グラフと沸騰を関係付けて考える力	記号 エ 1-①
1-1 グラフと沸騰を関係付けて考える力	理由 水の量が2倍になっても水がふっとうする温度は100℃近くで変わらない。また、水の量が増えたのでふっとうするまでの時間は長くなるから。 1-② ※100℃近くで温度が一定になっていること、水の量が増えたので100℃に上がるまでの時間がかかることの両方が記述されている。 <正答例> ・水が多いので100℃に上がるまでに時間がかかるから。 <誤答> ・一方の内容しか書いていない。 「100℃より上がらないから」だけは ウ も当てはまるので誤答。 「水の量が増えたのであたたまるのに時間がかかるから」だけは ア も当てはまるので誤答。
1-2 空気の性質を考えての予想	ふくろはふくらむと思う。また、ビーカーの水の量は変わらないと思う。 1-③ ※袋がふくらむこと、ビーカーの水の量が変わらないことの両方が記述されている。 <誤答> ・一方の内容しか書いていない。
1-2 水蒸気の性質を考えての予想	ふくろの中には水がたまると思う。また、ビーカーの水の量はへると思う。 1-④ ※袋の中に水がたまること、ビーカーの水の量が減ることの両方が記述されている。 <正答例> ・ふくろの中がくもり、ビーカーの水の量は減ると思う。 ・ふくろの内側に水滴がつき、ビーカーの水の量は減ると思う。 <誤答> ・一方の内容しか書いていない。
1-3 温度と状態の違いを関係付けて考える力	ア 水じょう気 1-⑤
1-3 温度と状態の違いを関係付けて考える力	イ 冷やさ 1-⑥
1-3 実験の目的と結論の整合性	ウ 空気 1-⑦

2 5年「季節と生き物の変化」

小問番号	採点基準
<p>2-1)</p> <p>資料を関係付けて考える力</p>	<p>はるかさん 記号 ア 2-① ウ 2-②</p> <p>なつきさん 記号 ア 2-③ イ 2-④</p>
<p>2-2)</p> <p>季節の変化と昆虫の様子の違いとを関係付けて考える力</p>	<p>ア と イ の2つのし料から、こん虫の数は、季節による気温の変化と関係があることが考えられます。 2-⑤</p> <p>※ア、イが記述されている。 ※季節による気温の変化と、成虫の個体数の変化とを関連付けて記述している。 ※資料ア、イ、それぞれから読み取れることを述べた後、関連付けて書いていてもよい。</p> <p><正答例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかくなると、こん虫の数がふえます。 ・気温が上がってくると、こん虫を見つけやすくなります。 ・気温が低いと、見付けられるこん虫の数は少ないです。 <p><誤答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料ア、イとは関係ない事柄で終始している。 ・どちらか一方の資料のみ触れられている。